

アリーナを核とした B.LEAGUEの取り組み

未来投資会議

March 24th, 2017



B.LEAGUE

**BREAK
THE
BORDER**

従来のアリーナは競技のための会場

スポーツを核とした地域経済活性化に向け

- スタジアム・アリーナは「非日常のイベント集客」のみならず「地域交流人口増大」の起爆剤
- 「多機能・複合化」(ハード) と「地域とチームの連携」(ソフト) が肝



サッカー

カシマスタジアム



バスケット

アオーレ長岡

Bリーグの戦略

地域戦略

“健康・医療”

年間利用者数 約**60**万人
(鹿島市人口3万人)

“交流拠点”

年間利用者数 約**130**万人
(長岡市人口28万人)

アリーナを核に
交流人口の増大
“地域活性化”

複合化

- クリニック (整形外科)
- フィットネスジム・ランニングコース
- ビアガーデン・レストラン

- ナカドマ (屋根付き市民交流スペース)
- 多目的ホール・シアター
- 市役所など行政サービス

日常でも
人々が集まる
“多機能・複合化”

×

アリーナ・スタジアム



地域戦略の
起爆剤
“夢のアリーナ”

全国で「夢のアリーナ」実現を目指した動きが広がりつつある中
地域開発の核となるアリーナ建設をリーグも推進

